

広島県立三次青陵高等学校生徒による、 中国内蒙古自治区内のゴビ砂漠での植樹と国際交流



《発表担当》

倉本 聡



松田 彬



《発表補助》

植田 奈月



椿 英典



三好 教弘

三次きんさい祭り会場において募金活動 2006年7月29日(土)



蒼穹の大地

2005年度海外研修報告

広島県立三次青陵高等学校

椿 英典 松田 彬

倉本 聡 中島 雄志

目的

1. 中国内蒙古自治区内のゴビ砂漠の植林活動を通して、地球規模の環境問題を解決する意欲と実践力を培う
2. 国際交流を通して異文化の理解や国際間の協力・友好に対する理解と実践力を培う
3. 社会的に意義のある植林ボランティアに参加することにより、国際化時代における日本の役割や国際社会の向上と発展に寄与する

研修地



研修先

中華人民共和国

内蒙古自治区 呼和浩特市

期間

平成17年(2005年)

7月24日(日)～7月31日(日)

協力

NPO法人 グリーンハット(GHF)

代表 元鳥取大学 遠山征雄先生

呼和浩特市人民政府

ゴビ沙漠(表土が流出した穀稼と枯河)



植林地での挨拶



植林地での交歓交流



植林に使った地下水のpHの調査



COD(科学的酸素供給量)の調査



植林地での記念撮影



呼和浩特市第一中学校での交流会



記念品の贈呈



交流会での記念撮影



内蒙古博物館を訪ねる



全長20mをこえる
草食恐竜の化石



呼和浩特市人民政府 『市庁舎玄関』



呼和浩特市人民政府 『表敬訪問』



政府発行の植林ボランティア活動の証明書



歓迎レセプションでの食事



塩類集積 『放棄された圃場』 (2005年, 7月)



『黄河』



水量の減った『黄河』



『クブチ砂漠』と『黄河』



クブチ砂漠の『大砂丘』を越えて



砂漠化に拍車がかかる『シラムレン草原』



『蒼穹の大地』

蒼穹に鶴の群れが舞う
一望千里の天堂草原
SHIRAMUREN GRASSLAND



「馬で訪ねたシラムレン草原の湖」



パオでの食事『蒙古料理』



『内蒙古農業大学との『高大連携』』



『内蒙古農業大学での記念撮影』



『中国『農大』の苗圃を視察』

『呼和浩特市の育苗圃』

『育苗圃の視察』



『世界遺産『万里の長城』』



『天安門広場』



新聞の記事

環境問題: 砂漠化、乾燥化は日本へ影響する?



砂漠化により、世界の食糧確保はどうなるのか?

全人代議事堂を天安門広場から臨む

国際関係: 日本はアジアの一員でありアジアの国々との友好交流が大切である

国際交流・異文化理解

日本の生活文化・習慣や価値観だけでは対応できない

国際交流を進めるために必要なこと

1. 社会の国際化に対応する
2. 言葉や文化の共通と異なる点を知る
3. 交流する人々の心を開き、お互いを尊重する
態度と礼儀の確立が必要

研修旅行を終えて



完